

(別紙1)

第59回北海道高等学校教育研究会(高教研)

英語部会研究集会

開催要項

- 1 日時 令和4年1月13日(木) 9:15~15:35
- 2 実施形態 ZOOMによるオンライン開催
- 3 配信場所 札幌大学(札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号 TEL 011-852-1181)
- 3 主催 北海道高等学校教育研究会
- 4 主管校 北海道千歳高等学校
- 5 後援 北海道教育委員会 札幌市教育委員会 北海道高等学校長協会
北海道私立中学高等学校協会 北海道高等学校英語教育研究会(高英研)
- 6 テーマ 「21世紀に生きる地球市民を育む英語教育」
English Education in the 21st Century: Fostering Global Citizenship
~ 新しい流れに対応する授業をめざして ~
In Pursuit of New Wave of English Teaching

7 時程

8:45	9:15	9:35		11:35	12:35		13:25	13:35		14:25	14:35	15:35
受付	開会式	全体講演 関西外国語大学 英語国際学部 教授 中嶋 洋一 氏		昼食	研究発表 ①		休憩	研究発表 ②		休憩	研究発表 ③	

8 内容

- (1) 全体講演会 (9:35~11:35)
演題 「なぜ、CAN-DO リストと授業や定期テストはリンクしないのか？」
- 「指導したことを評価する」の勘違い-
講師 関西外国語大学英語国際学部 教授 中嶋 洋一 氏
- (2) 研究実践発表Ⅰ (12:35~13:25) 七飯高校 佐々木ちひろ先生
自律した(外国語)学習者の育成を目指して
英検海外教員研修で学んだ学習者中心の授業デザインと小規模校のグローバル教育
- (3) 研究実践発表Ⅱ (13:35~14:25) 室蘭清水丘高校 小林 佳先生
主体的・協働的な4技能統合型授業実践 ~Speaking & Listening 指導編~
「Opinion」「CEFER-J 英単語帳リストレ」「発信型英文法指導 PPP」の実践
~英語の自動化授業から~
- (4) 研究実践発表Ⅲ (14:35~15:25) 札幌国際情報高校 佐々木康希先生
令和4年度から始まる新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業実践
「話すこと(やりとり)」の指導と評価におけるICT活用例
- (5) 助言者 札幌大学教授 今井康人 氏
北海道立教育研究所研修部主査 笹子 学 氏
北海道立教育研究所研究部研究研修主事 加藤 渉 氏

9 申込み

(1) 次のアとイの両方の手続きを行ってください。

ア 高教研本部（札幌旭丘高校）への参加申込み

- ・全教科（部会）共通
- ・メール送信による学校単位での申込み

受付期間 11月19日（金）～11月30日（火）

イ 高教研英語部会事務局（千歳高校）への参加申込み

- ・高教研2日目（1月13日）の英語部会に参加される方（管理職を含む）は「英語部会参加申込書」（別紙4）に記入し、FAXまたはメール送信により学校単位でお申込みください。

※1日目（1月12日）全体会のみ参加される方がいる場合はその旨、備考欄に記載し、送付してください。

- ・11月30日（火）締切（必着）

(2)参加料は、会員の方は2,000円、非会員の方は3,500円です。全体集会、英語部会のどちらか一日だけの参加であっても参加料は同額です。

10 その他

(1) Zoomによるオンライン配信となります。Zoomのアカウント・IDパスワードは参加申込後に本部よりお知らせいたします。

(2) 英語部会の配布資料は高教研ホームページにて掲載いたします。資料の閲覧開始時期やパスワードは、参加申込後にお知らせいたします。

(3) その他

本要項・案内・参加申込書等は高教研HPにも掲載します。必要に応じてダウンロードしてご利用ください。

ご不明な点がございましたら、高教研英語部会事務局（千歳高校 副校長・中川）までお問い合わせください（千歳高校 TEL：0123-23-9145）。